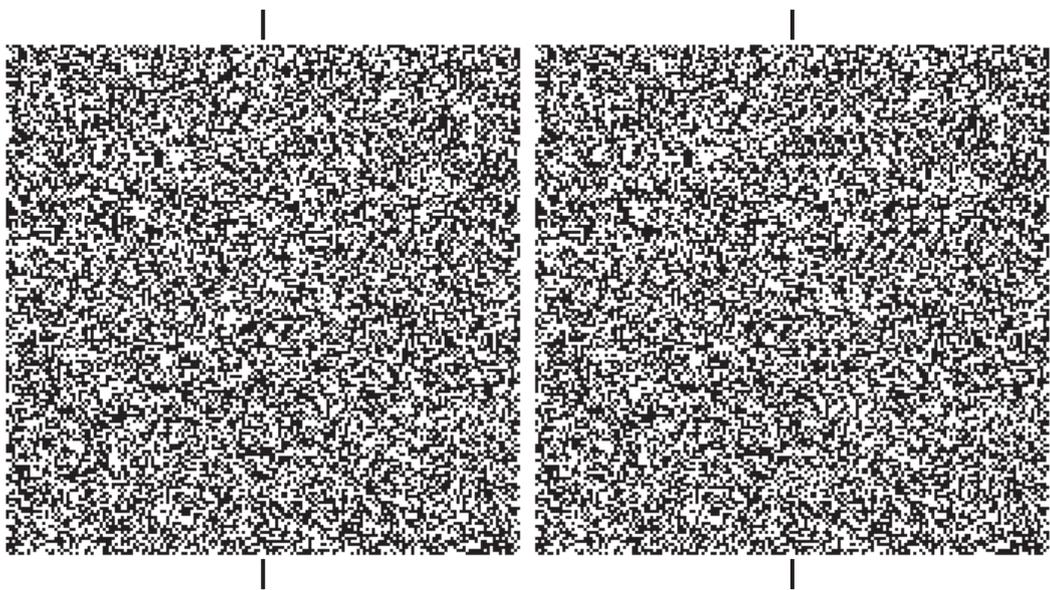


# 人間科学 研究

第36卷 第1号 補遺号

2023年3月



## 人間科学研究投稿規程

- 論文等の著者は早稲田大学人間科学学術院教員（助手・非常勤講師等を含む）、人間総合研究センター招聘研究員、同大学大学院人間科学研究科に在学中の学生（科目等履習生を含む）、同大学人間科学部に在学中の学生、および同大学人間科学学術院学術誌編集委員会（以下「編集委員会」という。）が認めたものとする。但し、人間科学学術院教員（助手・非常勤講師等を含む）との共同研究者は著者に加えることができる。
- 早稲田大学大学院人間科学研究科学生（科目等履習生を含む）、同大学人間科学部学生が早稲田大学人間科学学術院教員を共著者とせずに投稿する際は、同学術院教員の推薦書を併せて提出する。
- 論文等の種類は以下のものとする。
  - ① 「原著論文」：理論的・実証的な研究成果で、新規性、独創性、有用性があるもの。
  - ② 「研究ノート」：緊急性の高い研究報告、あるいは萌芽的発想に立つ研究。
  - ③ 「資料」：研究の基礎的材料や情報を提供する資料的価値のあるもの。
  - ④ 「総説」：最近の学術的知見やその成果を総合的に論述したもの。編集委員会が執筆依頼する場合もある。
  - ⑤ 「書評」：編集委員会が書籍ならびに評者を選定・依頼する。
  - ⑥ 「研究室だより」：各研究室の研究・教育内容を紹介し、最近の研究・教育業績等を報告する。毎号各学部の教員に編集委員会が依頼する。
  - ⑦ 「特別寄稿」：編集委員会が執筆者を選定・依頼する。
- 原著論文、研究ノート、資料、総説については、原稿提出期限は、編集委員会が定めた日とし、投稿された論文の査読を行い、編集委員会の議を経て掲載する。その他の書評、研究室だより、特別寄稿等は査読を行わず、編集委員会の議を経て掲載する。
- 他誌に発表された論文等は掲載できない。
- 原著論文、研究ノート、資料は、原則として、早稲田大学が定める研究倫理に関する規程に則ったものとする。特に、早稲田大学の「人を対象とする研究に関する倫理規程」「生物実験安全管理規程」（「生物実験安全管理規程（遺伝子組換え実験）施行細則」「生物実験安全管理規程（動物実験）施行細則」を含む。）「病原体等の管理に関する規程」に定められた審査に該当する研究については、当該審査を受け、承認番号を論文記載するものとする。なお、他機関で行った研究に関しても、上記の早稲田大学の研究倫理規程に相当する規程に沿ったものとする。
- 使用言語は日本語または英語とする。
- 原稿は、原著論文、研究ノート、資料、総説、書評等の別を明記し、人間科学研究投稿用テンプレートを用いてMS Word（またはRTF形式）のファイル、およびPDFファイルを提出する。
- 原著論文、特別寄稿、研究ノートおよび資料の刷り上がりは12ページ、邦文は24,000字以内とし、英文は12,000語以内とする（要旨・図表・写真・文献含む）。総説は6ページ、邦文は12,000字以内とし、英文は6,000語以内とする（要旨・図表・写真・文献含む）。書評並びに研究室だよりは2ページ、邦文は4,000字以内とし、英文は2,000語以内とする（図表・写真等含む）。
- 挿入図原稿は、直接印刷できるようなものとする。図表には、それぞれ必ず通し番号とタイトルをつける。図表の挿入箇所は、本文原稿に指示する。なお、他の著者から図表を転載する場合には、著者が著作権者から転載許諾を得た上で、その旨論文に記載すること。
- 原著論文、研究ノート、資料、総説については、人間科学研究投稿用テンプレートを用いて、題名、英文題名、著者名、所属、250語以内の英文要旨（本文が英文の場合は600字以内の邦文要旨）、要旨の下にkey wordsを5つ以内列挙し、それに引き続いて本文を記載することとする。英文については、本文、英文要旨とも投稿前に英文校閲を必ず受けること。
- 博士論文要旨は、刷り上がり2ページとする。修士論文要旨は、刷り上がり1ページとする。シンポジウム要旨等は、刷り上がり1ページとする。
- 句読法、本文中の見出し、引用・参考文献については別に定める人間科学研究書式細則に従うものとする。
- 校正は、著者が三校まで行うものとする。ただし、校正時には、原則として内容に関する訂正を認めない。
- 別刷りは50部まで無料とし、それ以上は本人負担とする。
- 定年等の退職教員のプロフィール、博士論文要旨・修士論文要旨、人総研シンポジウム抄録等は補遺号に掲載する。
- 本誌に掲載された著作権は原則として著者本人に帰属する。また、編集委員会は本誌掲載原稿の第一次刊行権を有し、本誌版下は編集委員会に帰属する。著者による本誌掲載形態での再録・公開は禁止する。著者は本誌掲載原稿の単行本への再録およびWeb上での公開ができる。再録・公開の際には、本誌掲載原稿である旨を明記する。
- 17条の規定に拘わらず、著者は、著作権のうち、以下の各号について、その行使を、あらかじめ許諾によって、編集委員会に委ねるものとする。
  - (1) 掲載論文等を国立情報学研究所の「研究紀要ポータルシステム」に登録および公開する権利
  - (2) 掲載論文等を「早稲田大学リポジトリ」に登録および公開する権利
- 18条の規定に拘わらず、著者は、自らの著作物である掲載論文等について、編集委員会が前条(1)、(2)の権利を行使することに対し許諾を与えないことができる。その場合、著者は、当該論文等が掲載される本誌の刊行以前に、その旨を文書により、編集委員会に申し出るものとする。
- 利益相反については、論文に明記するものとする。

附則 本規程は、2004年11月17日から施行する。

附則 本規程は、2010年1月27日から施行する。

附則 本規程は、2011年10月1日から施行する。

附則 本規程は、2012年1月1日から施行する。

附則 本規程は、2012年12月19日から施行する。

附則 本規程は、2015年12月16日から施行する。

附則 本規程は、2019年1月23日から施行する。

附則 本規程は、2019年11月13日から施行する。

附則 本規程は、2020年9月16日から施行する。

附則 本規程は、2021年5月26日から施行する。

附則 本規程は、2021年6月23日から施行する。

附則 本規程は、2022年1月26日から施行する。

## 編集後記

人間科学研究の第36巻第1号補遺号をお届けします。本誌を担当する学術誌編集委員会は昨年9月に新たなメンバーに交代しました。慣れない新委員長による運営でご迷惑をおかけしながらも、新たな委員の先生方のご尽力、査読者の方の厳正なる審査へのご協力、事務局スタッフの皆さんからのご支援を得て、無事発刊を迎えることができました。この場を借りて御礼申し上げます。どうもありがとうございました。今回、「書評」がはじめて掲載されました。加瀬裕子名誉教授をはじめ、早稲田大学人間科学学術院の教員8人が、幸せな認知症を人間科学により読み解いた新刊書について紹介されています。本誌と併せて、ぜひこの書籍についてもご一読いただければと願っております。今後とも、人間科学の優れた研究論文、ならびに関連情報を多数掲載できれば幸いです。引き続き積極的な投稿をお願いいたします。

2023年2月吉日  
(学術誌編集委員会委員長 巖淵 守)

## 表紙について

縦書きと横書きを組み合わせた題字は、異分野・異文化が「学」を要として結びつき展開する人間科学を象徴している。また、中央部に配置されたランダムドットからなる2つの正方形は、それぞれを両眼で観察すると一つの立体が浮かび上がるステレオグラムになっており、人間科学における学の融合と新しい価値の創造を表す。ここで立体視されるのは、本誌の前身であり、1988年から2004年まで発行された人間総合研究センター機関誌『ヒューマンサイエンス』表紙を飾る、「踊る人」のモチーフである。『ヒューマンサイエンス』に記載された説明によれば、「踊る人」は躍動する人間そのものであると同時に「人間によって記録された人間」であり、言わば「観察」と「記録」という人間による科学的営みそのものを自己言及的に表現していると読み取ることができる。この「踊る人」を、人間科学学術院のスクールカラーであるエメラルドグリーンを使用して裏表紙いっばいに描き、「踊る人」に重なるコンテンツ——各論考——の飛躍の願いを込めた。

(三嶋 博之)

## 人間科学研究 第36巻 第1号 補遺号 2023年

発行日 2023年3月17日  
発行人 三嶋 博之  
発行所 早稲田大学人間科学学術院  
埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15  
〒359-1192 電話 04-2947-6849  
印刷所 社会福祉法人東京コロニー  
コロニー東村山印刷所  
東京都東村山市秋津町2-22-9  
〒189-0001 電話 042-394-1113



www.waseda.jp/hfum

**Senior Dean:** Hiroyuki MISHIMA  
**Chief Editor:** Mamoru IWABUCHI  
**Editorial Board:** Naoto HIGUCHI,  
 Masayuki KASHIWAGI, Takuya CHIBA, Shutaro KOYAMA,  
 Kenji KURAKATA, Ryota NOMURA, Hiroko TAKENAKA,  
 Motoshi HIRATSUKA, Taisuke KATSURAGAWA



Waseda University  
 Faculty of Human Sciences

## CONTENTS

### Special Contribution

Rieko Osu  
 "My research in the context of human sciences" ..... 1

### Profile of Retired Professor

Professor Yoshitaka Ikeoka ..... 11  
 Professor Koji Takenaka ..... 13

### Original Papers

Asami Tominaga, Norio Hozaki  
 "Transformation of College Student Attitude and Consciousness in Collaborative  
 Work Experience in Synchronized Online Media-Production Class" ..... 15

### Research Note

Nao Kosaka, Kazuhiro Uchida, Yuji Miyamoto, Mamoru Iwabuchi  
 "Development of a Cloud-Based Information Sharing System to Connect  
 People Who Need Assistance and Local Supporters" ..... 29

### Data

Erika Kobayashi, Kazuki Oyama, Yuka Asami, Kazutaka Nomura, Hironori Shimada  
 "Recent Trend on Psychological Approaches in Internet  
 Gaming Disorder" ..... 43

### Review

Kaho Tanobe, Minori Machida, Ryo Motoya, Astushi Takeoka,  
 Steve k Lee, Hiroaki Kumano, Jun Tayama  
 "Epidemiological Research Trends in Tension-Type Headache  
 and Review of Screening Tools" ..... 57  
 Misa Sasaki, Kenichiro Kaneko, Taisuke Katsuragawa  
 "Review of acculturation discrepancies and mental health problems among adolescents in  
 Asian immigrant families—Acculturation discrepancies and mental health problems—" ..... 67

### Book Review

Syutaro Koyama  
 "Well-being for People with Dementia;  
 An Approach from Human Sciences" ..... 77

### Seminar Communication

Kentaro kazama ..... 79  
 Masahiro Morioka ..... 81  
 Taketoshi Sugisawa ..... 83

### Abstract of Master Theses

91 papers ..... 85

### Abstract of Doctor Theses

8 papers ..... 177

### Report of the Symposium

Atsushi Ogihara ..... 193  
 Hiroshi Fujimoto ..... 203

### Report of the Forum "Current Topics in Human Sciences"

Jie Yang ..... 213  
 Kazuya Inoue ..... 215  
 Tetsuyuki Shida ..... 218  
 Yoshitaka Kondo ..... 220

## 目次

### 特別寄稿

大須理英子  
 私と人間科学 ..... 1

### 退職教員プロフィール

池岡義孝 教授 ..... 11  
 竹中晃二 教授 ..... 13

### 原著論文

富永麻美、保崎則雄  
 「大学生がオンラインで映像制作を協働する過程において  
 形成される態度と変容する意識」 ..... 15

### 研究ノート

小坂菜生、内田和宏、宮本雄司、巖淵守  
 「避難行動要支援者と支援者を繋ぐ  
 支援情報共有システムの開発」 ..... 29

### 資料

小林えり佳、大山一樹、浅見祐香、野村和孝、嶋田洋徳  
 「インターネットゲーム障害における  
 心理学的支援に関する研究動向」 ..... 43

### 総説

田野邊果穂、町田規憲、本谷亮、武岡敦之、LEE Steve K、  
 熊野宏昭、田山淳  
 「緊張型頭痛の疫学研究動向とスクリーニングツールに  
 関するレビュー」 ..... 57  
 佐々木三紗、金子健一郎、桂川泰典  
 「青年期におけるアジア系移民の家族内の文化的不一致と心理的問題についての  
 研究動向—青年期の在日コリアンに対する心理的介入への示唆—」 ..... 67

### 書評

古山周太郎  
 「人間科学で読み解く幸せな認知症  
 —認知症の人は『恍惚の人』ではない—」 ..... 77

### 研究室だより

人間環境科学科野生動物生態学研究室 ..... 風間健太郎 ..... 79  
 健康福祉科学科バイオエシックス研究室 ..... 森岡正博 ..... 81  
 人間情報科学科教育データサイエンス研究室 ..... 杉澤武俊 ..... 83

### 修士論文要旨

91 papers ..... 85

### 博士論文要旨

8 papers ..... 177

### 人総研シンポジウム抄録

扇原淳 ..... 193  
 藤本浩志 ..... 203

### 「人間科学研究交流会」報告

第64回 楊潔 ..... 213  
 第65回 井上和哉 ..... 215  
 第66回 志田哲之 ..... 218  
 第67回 近藤嘉高 ..... 220